



おかむら通信 第134号

平成28年6月

ごあいさつ

さあ、皆様は、ふたたび、お元気ですか？ 気候もさらに暖かくなってきて、気温の変化に体調をくずされてはいませんか？ 私は今月が、色々と忙しくなる月でありますので、いま、自分のペースがすこし乱れています。しかし、いろいろと着々と準備が整いつつあります。何かの力を感じています。これからの一年は、すべての人を受け入れなければならない訓練・鍛錬にさらされることになるでしょう。しかし頑張ります。

<今月のことば>

****There is nothing permanent except change. Heraclitus**

変化をしなければ、その行為に恒久的なものなどない

****There is no charm equal to tenderness of heart.**

Jane Austen

心からのやさしさ ほどの 魅力 なんて あるのでしょうか？

院長 から

- ① 当院での、先読み。たった数分で、初めて来院された患者さんの隠れた病気を、予測するのはいけないことでしょうか？ 3つ4つの隠れた病気の存在の可能性をお話した時に、ある新患の方に「そんな事はわかるはずがない」と、お怒りの言葉をいただきました。私がダイレクトに言い過ぎたかもしれません。しかし、実は、わかるのです。
- ② 院長の病気の診断の仕方は、来院時にほぼ予測することです。初診時に私が良く、手を触ったり、全身の診察をしたり、患者さんの既往歴、家族歴などなどをしつこく聞いてますね。そして、それから行う検査はそのひとつひとつの確認作業なのです。インシュリン治療に進歩が出てきてます。なかなか治りにくい糖尿病には一緒に頑張っていきましょう。
- ③ 胆石の 怖さ、
院長の反省；心窩部痛、心臓がどくどくする、むねに違和感がある、冷や汗をかいた。といわれる症状と、いっぱんの診察で、軽症の心負荷、一過性の精神的な問題としてようすを見ることにしました。ところが土曜日だったこともあってそのご、わたしが見ることもできず、当日夜間に病院に緊急入院されて、応急処置をしてい





ただき、実は 胆管炎+胆石だったのです。この疾患に特有の右季肋部、背部痛、発熱は認めてなかったのです。

- ④ またまた、塩分の話 6g/日 ですよ。高血圧症の方。10g から 12g が日本人平均摂取量です。
- ⑤ またまた 5の話。 休肝日週 2回。お酒の毎日摂取はよくないです。誰が何と言おうと。皆様は、肝臓、すいぞうに影響が来るのはお判りでしょうが、それよりも脳、精神疾患への移行の方が危険なのです。
- ⑥ 高脂血症と脳梗塞の関係。長年、外来診療をしてきたなかで、間違いなく一つの傾向があります。高脂血症をそのままにしておかれた方々に脳梗塞（ラクナ梗塞も含めて）が多いのです。

5月の院長の主な活動

- 5/ (木) 夜間小児急病センター 松戸市立病院内
- 7/ (土) 英国家庭医学会シンポジウム イイノホール
英国のドクター（総合診療医）2名、丸山 泉（名誉フェロー、総合診療医）
横倉義武（日本医師会長、かかりつけ医推奨） 議論・討論（英国で総合診療医という専門医が今、当たり前になるまでの推移・歴史。日本のかかりつけ医、家庭医に求めるものと現状とのずれ）

- 11/ (水) 牧の原小学校健診
- 16/ (月) 当院カンファレンス
- 20/ (金) 非公式クラブ協議会（松戸中央RC）
- 24/ (火) 松飛台小学校健診
- 25/ (水) RC次年度会長・幹事会（12分区）
- 28/ (土) 29/ (日) 30/ (月)

松戸



国際ロータリークラブ国際大会（韓国、ソウル）

4万人を超える世界各国のロータリアンが集う異様な活発さ、雰囲気味わえました。世界のほとんどの国からの参加が目立ちました。なぜか共産圏などクラブがない国からも。

その他、院長みずから、以下のこと。

*初めてロータリークラブができたブータンとの交流が生まれようとしています。できればこの9月あたりに、王宮の方々とお会いできれば。世界一幸せな国とはいえ、貧しく親のいない子どもたちもいます。

*イギリスの複数のロータリークラブのアフリカ・ギニアへの支援に、共同支援の依頼がきています。

日本大使館に後押しをしてもらおうと今画策しています。



私の家の目の前に、4月から
小学校が開校しました。
朝、子供達の元気な声が聞こえ
とても賑やかです。 今月担当 島津